

life
くらし

健康110番

国際医療福祉大学病院です

25



福島久喜医師

乳腺症や嚢胞が心配

Q 47歳女性です。乳がん検診を受けたときに、いつも乳腺症や嚢胞で超音波検査はカテゴリー3。専門病院で精密検査が必要といわれます。乳腺症や嚢胞は将来、がんになりやすいのでしょうか。

A 乳腺外来でよく耳にする乳がん検診後の悩み、不安、迷いについてお答えします。

乳腺症は中年女性に多い乳腺の良性疾患ですが、正常乳腺の生理的变化にすぎないという説もあります。乳がん検診の診断結果が「乳がんではないが、まったく異常なしとも言えない」場合、診断として多く使われているようです。

乳腺症は中年女性のホルモンのバランスが崩れるために起こり、症状として乳腺の痛み、張る感じや軟らかいしこり、時に乳頭分泌がみられます。閉経

段階に分け、4と5は「乳がんの疑い」「乳がん」ですし、1と2は「良性」、3は「グレーゾーン」になります。乳腺症は中年女性のホルモンのバランスが崩れるために起こり、症状として乳腺の痛み、張る感じや軟らかいしこり、時に乳頭分泌がみられます。閉経

がんリスクない良性疾患

マンモグラフィ、超音波検査のカテゴリー3も同様です。診断はカテゴリーとして5

するまでには自然消失するため経過観察で十分です。

また、袋に水がたまる嚢胞は乳腺症同様の良性疾患で、肝臓、腎臓などにもみられます。多くは超音波検査で両側に小嚢胞として

診断されますが、しこりとして硬くはつきり触れるものは、乳腺外来を受診して針を刺し

はり乳腺外来を受診し、乳がんになったりし

けられる」ことです。乳がん検診はお風呂で体を洗いながらでき

最後に乳首をつまみ、分泌液が出ないか確かめてください。乳がんは、自分で見つけられるがんです。検診を受けることはもちろん、乳房の自己検診をぜひお勧めします。



セルフチェック
イラスト/ 仲田賢代 SHIMOTSUKE GRAPHICS

でも、迷うのは病院選びです。乳がん専門病院は、診断、治療の設備が整っています。なお、日本乳癌学会認定関連施設は県内にわが国際医療福祉大学病院を含め12病院ありますので、インターネットで検索してお近くの病院を選びましょう。

女性の中には、子宮、卵巣という特殊な臓器がありますが、これらのがんと乳がんの大きな違いは「自分でみつ

（第2、4、5木曜）
日掲載